

平成26年度 静岡県立こども病院エコー室改修空調設備工事

図面リスト

図 番	図 面 名	縮 尺
M-00	表紙・図面リスト	N. S
M-01	特配仕様書 (1)	N. S
M-02	特配仕様書 (2)	N. S
M-03	工事区分表	N. S
M-04	空調換気設備 機器表・制気口リスト	N. S
M-05	空調換気設備 ダクト・配管平面図 (改修)	1 / 5 0
M-06	空調換気設備 ダクト・配管平面図 (撤去)	1 / 5 0

図 番	図 面 名	縮 尺

機械設備工事特記仕様書

[illegible][illegible]

21鋼管用耐衝撃継手

22絶縁継手・絶縁ワッパ

23ボンプの接続

24水槽類

25耐震施工

⑮ステンレス鋼管継手

呼び径60S以上のステンレス鋼管の継手は下記による。
メカニカル形管継手（※、拡管式）、フリス式）
・ベロー型式 ○スリープ型
異種金属間の界面直前に取り付ける。
ボンプの接続は、（※4種）とする。
ただし、加圧給水ポンプについてはこの限りではない。
水槽類のオーブーフロアー管及びドレーン管は配管用酸素銅管（白）とする。
設備機器、配管等の支持、固定は「防災拠点等」における設備地盤対策ガイドライン（特約款）及び「建築物設備設計・施工指針（日本建築センター）2005年版」による。設計用水平地震力は、下記に示す設計用水平震度1、機器の質量を乗じたものとする。
設計開始直前までは、設計用水平震度の1/2とする。

●空気調和設備

①設計条件

2ばい煙濃度計

3ばいじん量測定口

②チェンバー

③吸出口・吸込口

④ダンパー

⑤矩形ダクト

8冷媒ガス

⑥配管材料

⑦タクト保温

⑧バネリ落下防止措置

⑨網止め

⑩総合調整

本施設は（※、防災上重要な施設、一般の施設）とする。
機器等の設備標準クラスの分類は、次による。

クラス	防災上重要な施設	一般の施設
①クラス	<ul style="list-style-type: none">・タンク類・防災機器・ボンプ類・無線室等の空調機類	<ul style="list-style-type: none">・防災機器
②クラス	<ul style="list-style-type: none">・熱源機器・ボイラー・冷水機・冷凍水機	<ul style="list-style-type: none">・タンク類・ボンプ類・ガス機器
③クラス	<ul style="list-style-type: none">・冷却塔・空調機・ガス機器・配管・ダクト	
④クラス	s、αクラス以外の機器等	s、αクラス以外の機器等

※とα施設エナジーは原則としておなじ形とし、めねじ形を使用する場合は監督員と協議すること。

排煙設備	3 排煙口開放装置 4 排煙風量測定	・ 電取付（スリット形） ・ フレイヤード式 建築設備定期調査業務基準 平成20年度版（財）日本建築設備・昇降機センターの排煙風量の検査方法に準ずる。
衛生設備	1 大便器洗浄水量 2 隅付ロータンク 3 掃除流し ③ 木栓	大便器の排水水量は8.5L以下とする。（隅付ロータンクを除く）ただし、器具の標準洗浄水量が6.5L以下の場合は、8Lに調整すること。 ※ 防溢型 ・ 普通型 ※ 排水量 ・ 鎖付き枝柱 ※ リンゴア ・ 普通コブ
● 屋内給水設備	① 配管材料 ② 配管接合	屋内一般 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VB) 土中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VD) ねじ接合 ※ 100A 以下 A 以下 (FVB、FVDとする) フランジ接合 ※ 125A 以上 A 以上
屋外給水設備	1 引込み納付金 2 止水器 3 止水材料 4 配管材料	※ 要（・ 別途工事・ 本工事） ※ 資与品 ・ 本工事（水道事業者の指定品） ※ 水道專業者の資格 ・ 構架図 土中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VD) (40A 以下) ※ 水道管用ホムポリエチレン管 (50A 以上)
内排水設備	5 配管接合 6 緊急通断弁装置	架空 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VB) ねじ接合 ※ 100A 以下 A 以下 (FVB、FVDとする) フランジ接合 ※ 125A 以上 A 以上 駆動方式 ※電気式 ・ 機械式
● 屋内排水設備	① 配管材料 ② 試験 ③ その他	雑排水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 トイレ・シンク・洗面台・浴槽・排水口等の排水パイプは、排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (RF-VP) ※ 硬質塩化ビニル管 (VP) エット内 ※ 配管用炭素鋼管 (白) ※ 一般配管用ステンレス鋼管 高温排水 汚水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ※ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル排水三層管 (RF-VP) ※ 硬質塩化ビニル管 (VP) エット内 ※ マイカル形排水用鍍鉄管 通気 ※ 配管用炭素鋼管 (白) ※ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル排水三層管 (RF-VP) ※ 硬質塩化ビニル管 (VP) エット内
● 給湯設備	① 配管材料	・ 保溫付被覆銅管 ※ 一般配管用ステンレス鋼管 ※ 水道用熱伝導性硬質塩化ビニルライニング鋼管
● 消火設備	① 配管材料 ② 試験 ③ その他	屋内一般 ※ 配管用炭素鋼管 (白) ・ 圧力配管用炭素鋼管 (SIFG370 白管 set40) 土中埋設 ※ 消防用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (VS) ※ 消防用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SIFG370VS 白管 set40) ※ ヴルチ ※ 製造者標準仕様 ※ 標準図 (P -) による。
○ ガス設備	1 ガスの種類 2 配管材料 3 ガスメーター 4 ガス漏れ警報機 5 緊急遮断弁 6 試験 7 その他	・ 都市ガス 13A 45MJ ・ 液化石油ガス 102MJ ※ 配管用炭素鋼管 (白) 土中埋設 ※ ポリエチレン被覆銅管 (PE-PUS) ※ ガス用ポリエチレン管 (PE) ※ 資与品 ・ 本工事 ・ 遮りない ※ 行かない 保持時間は分以上とし、記録計による測定表を提出する。 ガス不備へ延滞防止の領は本工事とする。
○ 厨房機器設備	1 厨房機器	別添厨房機器図面による。

機械設備工事特記仕様書

浄化槽整備	1 処理方式 2 処理能力 3 本体構造 4 放流水質 5 配管材料 6 土留め工法 7 報告	合併処理・建設基準法施行令第35条の認定品による ・建設省告示第1292号による。第() (方式) 処理対象人員 処理水量 ・コンクリート製 ・F R P製 BOD ppm 以下 ・一般配管用ステンレス鋼管 () ・耐熱性硬質塩化ビニル管 () ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ()
3ヶ月間(月2回)点検を行い、完了後に報告書(点検記録、水質検査の結果)を提出すること。生物化学的酸素要求量 (BOD)、水素イオン濃度 (pH) 浮遊物質量 (SS)、太陽菌数 (最増数法) について実施する。		

(空調屋内機・バル落下防止・振れ止めの参考図)

天井とところ (H) が 1.5m 以上の場合、吊りボルトと
同材を用いて斜め補強を4面に施す。
斜め補強は、1面につき1本とし、手前と奥の斜め材
が相対する方向に配置する。 *

吊ボルト

振れ止め支持金具

斜め補強

吊ボルト

吊ボルト位置調整金具
(吊ボルトの位置調整が必要な場合)

防振吊金具

1.5m以上

1 種別	・ 浅井戸 ・ 深井戸
2 掘削方式	・ ロータリ式 ・ パーカッション式
3 ケーシング	※ 配管用炭素鋼管（黒） ・ ダウンザールハント式
4 ストリーパー	※ ステンレス製巻線型 ・ スポット測定
5 電気使用	※ 連続測定 ・ 行わない
6 水質検査	※ 行う（原水全項目）

吊ボルト

振止め支持金具

吊ボルト位置調整金具
(吊ボルトの位置調整が必要な場合)

防塵配金具

ワイヤー（約1mm程度）対角に設置
(200mm程度の長さを確保すること)

H

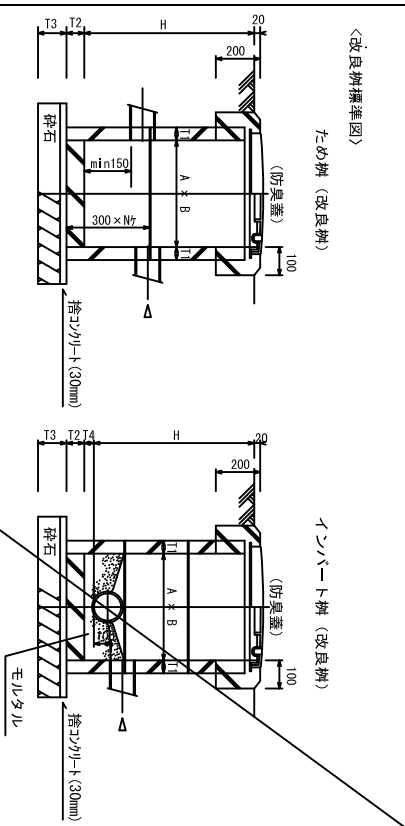
ϕ

※天井ふところ(H)が大きい参考図の振れ止めが有効でない場合は、監督職員と協議すること。

パネルの本体にワイヤーを固定

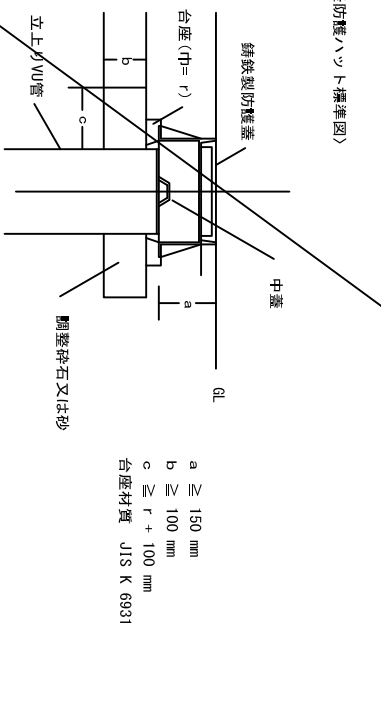
○ 撤去工事	① 冷媒（フロン系）の回収及び破壊	<p>※有</p> <p>・ 無 冷媒の回収にあたっては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）」に従って行うこと。</p> <p>また、法に規定するもの、他の、次の書類を監督職員に提出すること。</p> <p>(ア) 第一種フロン類回収業者登録通知書の写し</p> <p>(イ) フロン類の最終処理に関する証明書</p> <p>(ロ) フロン類の管理票の写し、監督員の指示による。</p> <p>(ハ) 家庭用のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクルする（フロン類の回収を含む。）を行ない、監督員に次の書類を提出する。</p> <p>(ニ) 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し</p>
--------	-------------------	--

名称	配管種
・給水管	井類
・排水管	
・冷温水管	
・冷媒管	
・仕切弁	井類
・バタツライ弁	
・逆止弁	



配号・	A × B	H	T1	T2	T3
RK-1	300 × 300	400	60	60	100
RK-2	360 × 360	400	60	80	100
RK-3	450 × 450	410 ~ 600	60	80	100
RK-4	600 × 600	610 ~ 1,200	60	100	100

配号・	A × B	H	T1	T2	T3
SR-1	450 × 450	~ 600	60	80	30
SR-5	600 × 600	610 ~ 1,200	60	100	50



別表

名称	配管類
	<ul style="list-style-type: none"> ・給水管 ・排水管 ・冷温水管 ・冷媒管
	弁類 <ul style="list-style-type: none"> ・仕切弁 ・バタフライ弁 ・逆止弁 ・緊急遮断弁
	ボンプ類 <ul style="list-style-type: none"> ・給水用ボンプ ・空調用ボンプ ・消火ボンプ
	※タンク類 <ul style="list-style-type: none"> ・受水槽 ・高架水槽 ・貯湯槽 ・膨張水槽
	※空調機和設備工事用機材 <ul style="list-style-type: none"> ・パナソニック ・空気調和機 (AHU) ・冷却塔 ・ヘンダー
	※自動制御機器類 <ul style="list-style-type: none"> ・中央監視盤 ・リモート盤
	給排水衛生設備工事用機材 <ul style="list-style-type: none"> ・衛生器具 ・水栓 ・組立てマンホール
	※浄化槽 <ul style="list-style-type: none"> ・F R P 浄化槽 ・動力型、制御型 ・フロー
	※さく井 <ul style="list-style-type: none"> ・スクリーン
	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・スリープ（つば付鋼管）

表のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

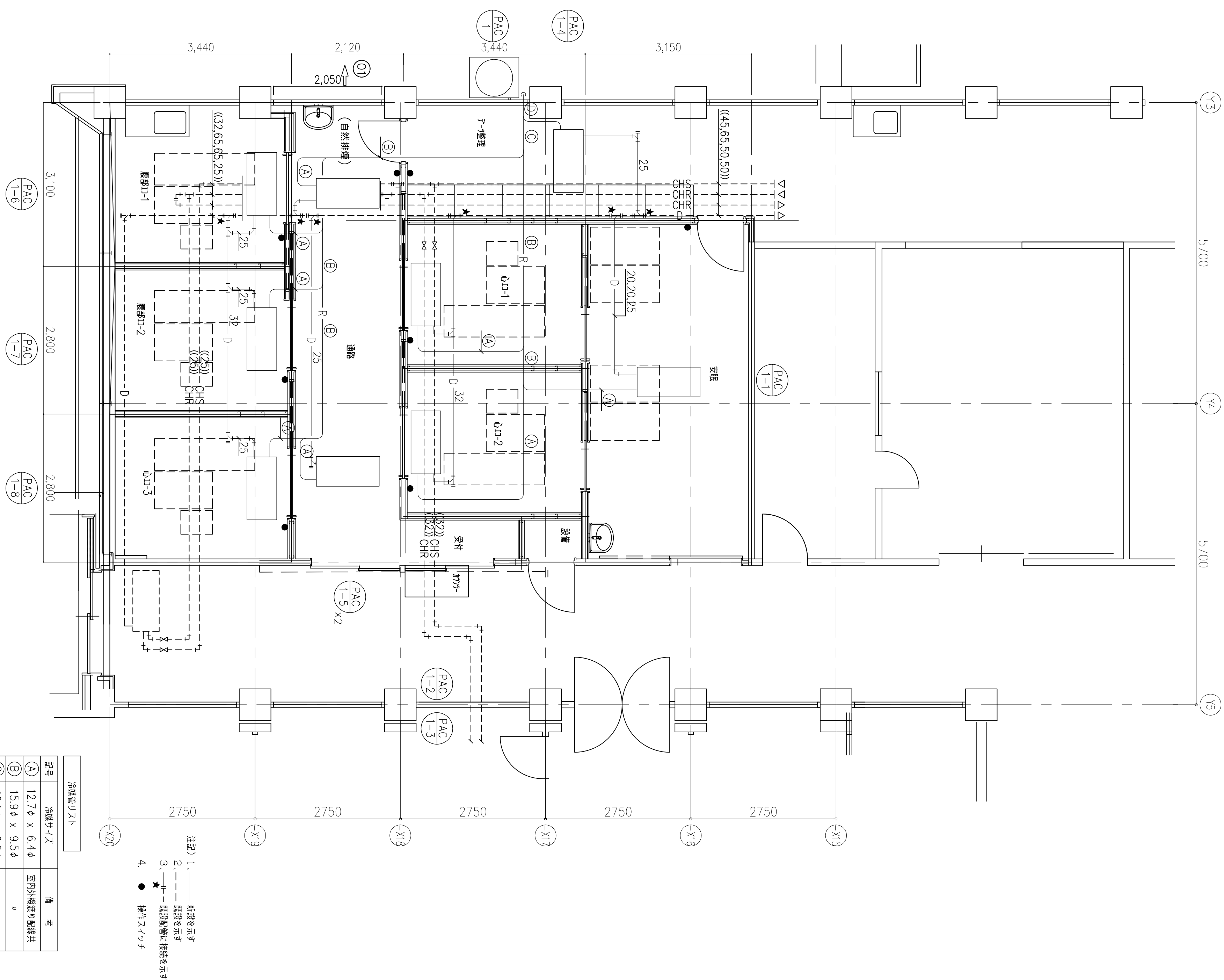
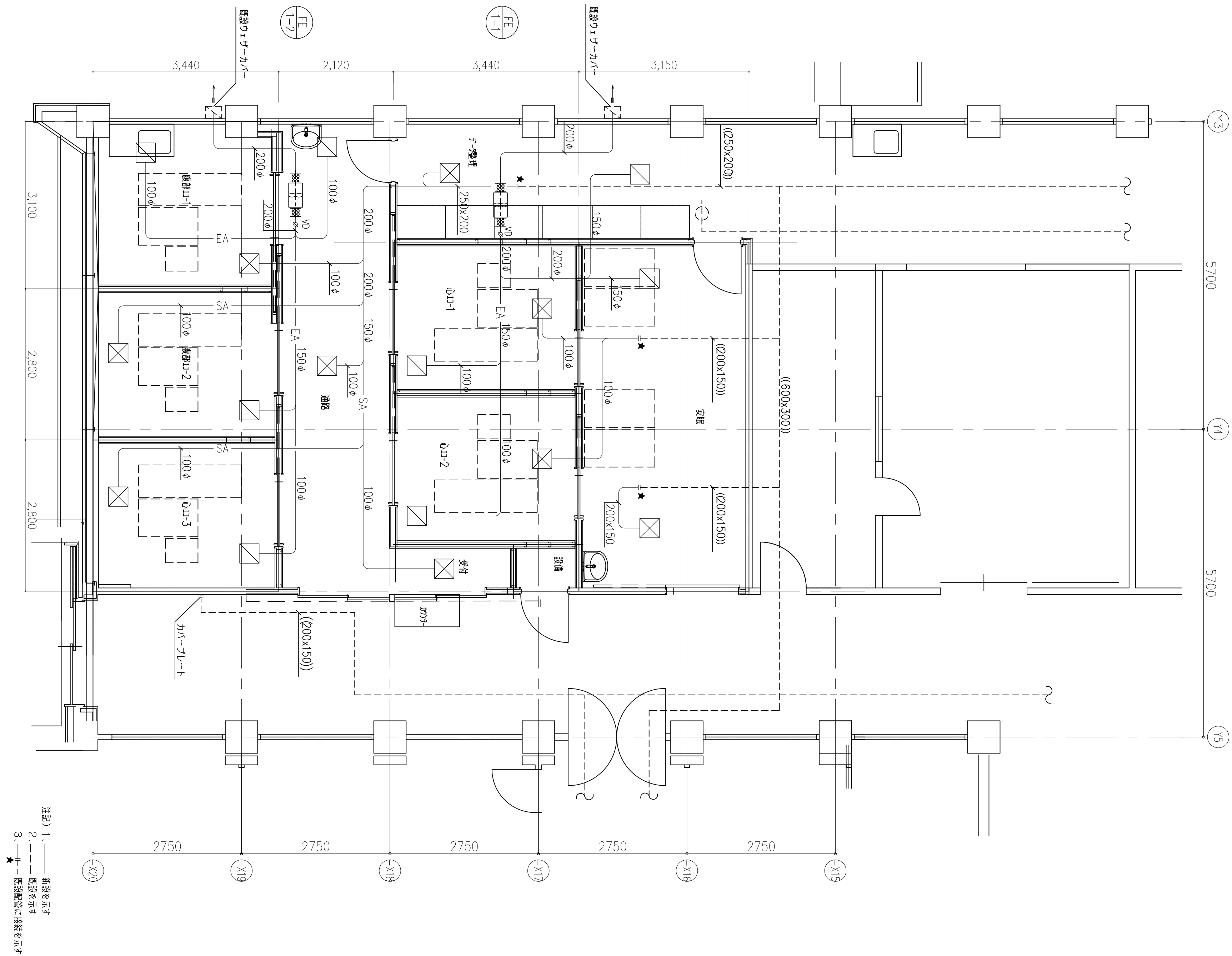
◎印のない場合は、※印を適用する。

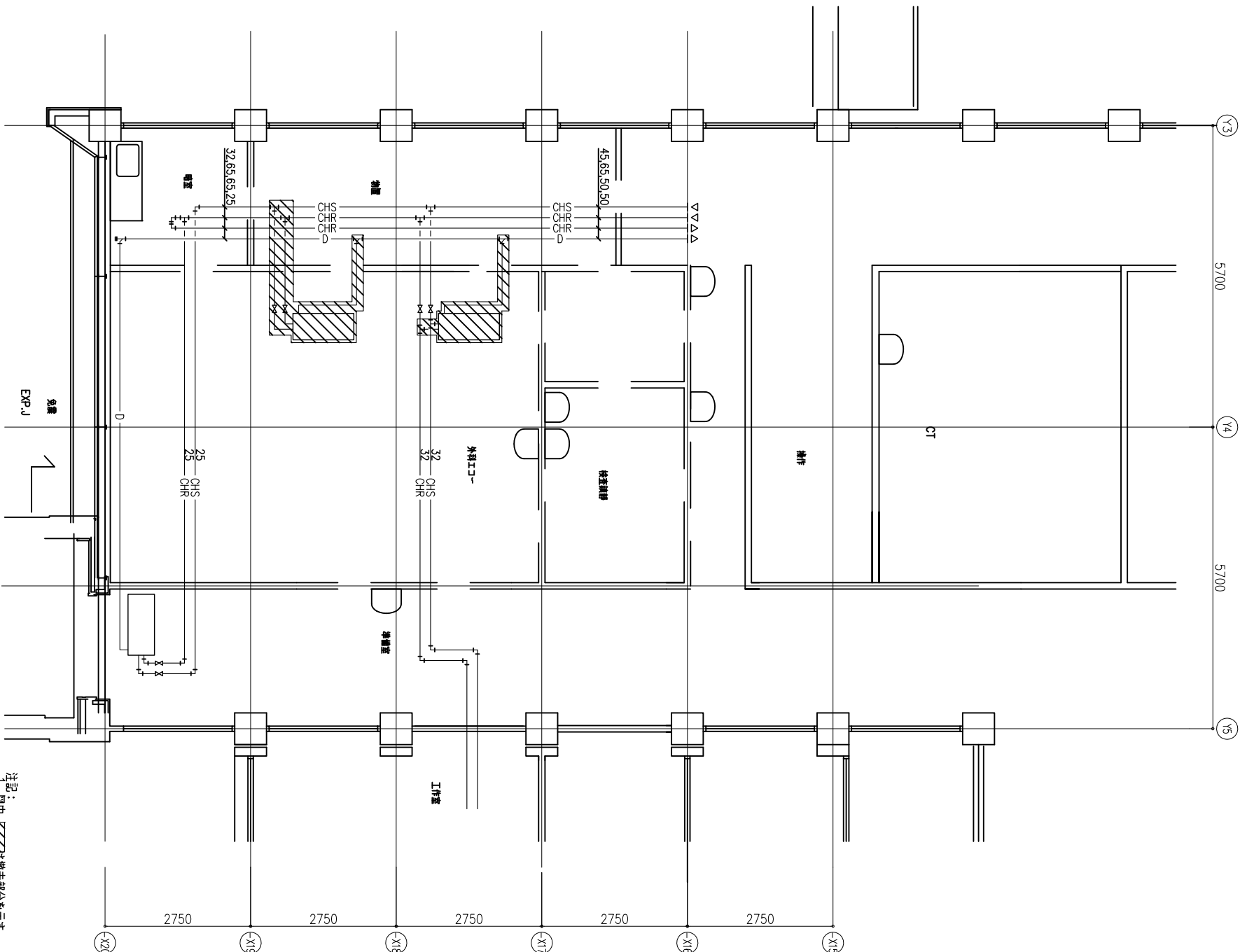
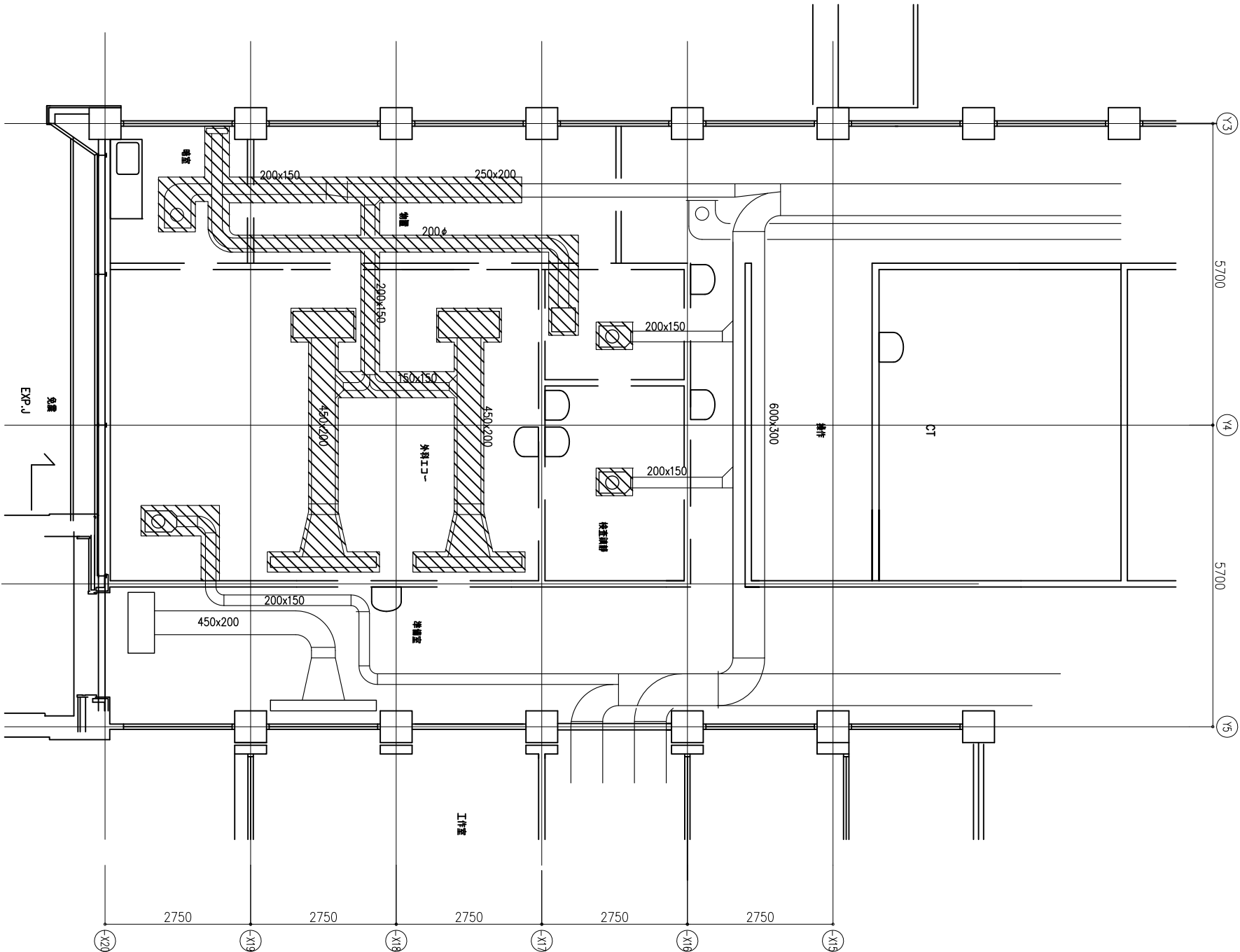
その他
1) ステンレス材を酸洗した場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。

施工条件

- ※ 床井入スラフへのアンカー打設、はりつりは、病院の業務に影響がない様に施工すること。
(基本的に土・日・祝日作業とする。)
- ※ 地階廊下など、第三者の通行を妨げる施工に関しては、土・日・祝日又は、夜間作業とする。
- ※ 下階天井内の既設排水配管の撤去更新時は、下階の制限を院内にかけて頂き施工すること。
- ※ 仮囲いエリア外の作業を行う場合は、床・壁の養生を行い、清掃を行う事。
- ※ 請負者は、安全計画等及び指図各種届出・協議、特定施設届出・協議を行う事。

[illegible]





注記：
1. 図中 〰〰〰は撤去部分を示す。